日本訪問看護財団 WEB アンケート

第３弾　新型コロナウイルス感染症に関するアンケート
～感染症発生状況と経営に及ぼす影響～

【報告書】

２０２０（令和２）年 10 月 19 日

公益財団法人日本訪問看護財団

Ⅰ．調査概要

１．目的

新型コロナウイルス感染症の発生状況と経営に及ぼす影響等の実態を調査し、訪問看護ステーションの対応に関する課題を把握し提言とする。

２．調査協力

日本訪問看護財団の会員

３．調査対象

開設設立から1年以上を経過している訪問看護ステーションの管理者またはその代理者

４．調査方法

Webアンケート調査

５．調査期間

2020（令和 2）年 9 月 11 日（金）～25 日（金）

６．回答数

149 件（一部、有効回答数 136 件）

７．設問項目

【Step1】貴訪問看護ステーションの基本情報について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P５

所在地／開設法人／開設期間／常勤換算数

【Step2】新型コロナウイルス感染症に関する訪問看護ステーションの対応について ・・・・・・・・・・・ P６

新規の利用を断ったケースの有無と件数／利用者数と訪問回数の前年比（4～8 月）／訪問回数が減った理由と内容

【Step3】2020 年 8 月末までの新型コロナウイルス感染症発生ついて・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P７

利用者の新型コロナウイルス感染症の感染者等の人数／感染者等の症状・状態像／感染防護具の不足状態／スタッフの新型コロナウイルス感染症の感染者等の人数と休ませた延べ日数

【Step4】貴訪問看護ステーションの経営に及ぼす影響（レセプト請求額ベースでの減少割合）について P９

前年と比較した収益増減幅（5～8 月）／2020 年 8 月現在の収益増減幅とその理由／今後の事業予定／希望する国の支援策／厚生労働省から通知された臨時的対応策の利用・申請状況等／厚生労働省に今後期待する支援策

Ⅱ．調査結果のまとめと提言

1．2019 年 4 月～8 月と 2020 年同月の利用者数と訪問回数の変化について

前年同月比では、全体的に介護保険・医療保険ともに増加傾向にあった【Step2-3)】。しかし訪問回数が減った月があると回答した訪問看護ステーションは 89 か所（59.7%）あり、「医師・ケアマネジャーからの依頼減少」が 44.9%、「利用者・家族の意思」が 42.7%等となっていた【Step2-4)】。

「緊急事態宣言」下にあったためか、2020 年 4 月と 5 月の比較では、5 月が介護保険・医療保険ともに利用者数は減少した【Step2-3)】。

2．感染者（疑い含）等の発生について

1）利用者

利用者について、感染者（疑い含）が「発生した」訪問看護ステーションは 33 か所（22.1%）であった【Step3-1)】。利用者の内訳は、「新型コロナウイルス感染者」は 9 人、「感染の疑いがある者」は 68 人、「濃厚接触者」は 22 人であった【Step3-2)】。

利用者の症状では、「発熱」が 66.7%で最も多く、次いで咳、呼吸苦や倦怠感であったが、「無症状（特になし）」も 30.3%あった【Step3-3)】。

今後、無症状やごく軽症の感染者で自宅療養も増えることから、訪問看護師は感染しないことが重要であり、さらに在宅高齢療養者に感染させないようにより注意が必要な状況になろう。

2）訪問看護ステーションのスタッフ

訪問看護ステーションのスタッフについて、感染者（疑い含）が「発生した」訪問看護ステーションは 14 か所（9.4%）であった【Step3-5)】。スタッフの内訳は、「新型コロナウイルス感染者」は無かったものの、「感染の疑いがある者」は 15 人、「濃厚接触者」は 17 人であった【Step3-6)】。スタッフを休ませた延べ日数は 1 訪問看護ステーション当たり平均 11.2 日であった【Step3-6)(参考）】。

感染者だけでなく、疑いや濃厚接触者という判断においても、やむを得ずスタッフを一定期間休ませなければならない状況につながるため、事前にその状況が生じた場合を想定しておくことも必要になろう。

3．感染防護具の不足状況について

感染防護具は引き続き不足しており、具体的には「N95 マスク」が最も多く 71.8%、次いで「長袖プラスティック製エプロン」51.7%、「手袋」48.3%、「足カバー」47.7%、「キャップ」44.3%、「ゴーグル」40.3%等となっていた【Step3-4)】。

また、エタノール、手洗い液、ディスポ腕カバー、体温計等も不足しているとの意見もあった。

多くの訪問看護ステーションで、まだ、充足とは言えなかった。感染防護具の整備が訪問看護師の看護そのものに影響し、また、メンタルストレス軽減に役立つことから感染防護具を今後も整備する必要がある。

都内のある保健所から、「吸引する在宅療養者はエアロゾルが発生するリスク回避のため、N95 マスクを使用すること」との通達が出されて、現場では N95 マスクは入手困難なため戸惑っているという話もある。感染防護具の安定した供給体制が望まれる。

４．経営に及ぼす影響について

１）2019 年 5 月～8 月と 2020 年同月のレセプト請求ベースにおける変化について【Step4-1)～4)】

前年同月比における収支状況は、「変化はほとんどない」「1 割以上増加」を合わせると全体で 68.5～75.2%であった。

「1 割から 3 割程度減少」した訪問看護ステーションについては、2019 年と 2020 年 5 月の比較では 28.1%、6 月の比較では 22.1%、7 月の比較では 21.6%、8 月の比較では 20.8%であった。8 月は「4 割程度減少」が 3 か所（2.0%）あった。レセプトは翌月請求となるため、実際の訪問看護は 4 月、5 月、6 月、7 月に実施されて請求されており、「1 割から 3 割程度減少」は 2 割を超えていた。個別に訪問看護ステーションをみると財政支援が必要な訪問看護ステーションもあった。

２）2020 年 8 月の経営等について

2020 年 8 月 1 か月については、新型コロナウイルス感染症のため「利用を断ったケースはなかった」のは 147 か所（98.7%）であり、「断ったケースがある」訪問看護ステーションは 2 か所（1.3%）であった【Step2-1)】。

経営状況は、「新型コロナウイルス感染症発生前と変化はほとんどない」又は「1 割以上増加した」が 107 か所（71.8%）であった。

「利益が減少」「黒字が赤字」更に「赤字が増えた」訪問看護ステーションは 28.2%あった【Step4-2)-(1)】。その理由は「利用回数が減少した」と「感染防護具の支出費が増加した」が 64.3%で最も多く、次いで「利用者が減少した」57.1%等となっていた【Step4-2)-(2)】。

国からの最も希望する支援策としては「人件費への補助金」が 38.1%で最も多く、次いで「損失への給付金」33.3%、「家賃・駐車場等の補助」11.9%の順であった【Step4-2)-(4)】。

５．新型コロナウイルス感染症に関する臨時的取扱い等の活用について【Step4-3)】

１）会議開催の臨時的対応の活用

「定期的な会議の柔軟な取り扱い【B】」は 35.6%が活用、「検討中（19.5%）」と合わせて 5 割以上が積極的に対応している。

２）報酬上の臨時的対応の活用

「看護職員の電話等による病状確認や療養指導等での訪問看護管理療養費のみの算定【E】」14.8%、「20 分未満の訪問看護要件の緩和【C】」8.1%、「特別管理加算の月 1 回別途算定【D】」4.0%であった。

今後 ICT 化が加速的に進み、業務効率化による生産性の向上が図られる分野と思われるので、訪問看護においても電話相談やビデオ通話などの柔軟な活用を検討していただきたい。

３）経営的支援の活用

「持続化給付金【G】」は 11.4%が活用し、更に「検討中（15.4%）」も合わせると 3 割弱が対応したが「セーフティネット保証 5 号【I】」の活用は 1.3%と低く、更に 36.9%が「通知を知らなかった」という実態があった。

４）臨時的包括支援事業の活用

支援事業の中で、「慰労金支給事業【O】」は 53.0%が活用し、「検討中(27.5%)」と合わせて 8 割以上が積極的に対応している。

「感染症防止のための環境整備事業【Q】」13.4%、「小学校休業等対応助成金【S】」11.4%、「感染症対策支援事業【N】」10.7%等であった。

「母性健康管理措置による休暇取得支援助成金【U】」、「両立支援等助成金（介護離職防止支援コース）【T】」、「小学校休業等対応助成金【S】」、「利用者への再開支援事業【P】」については、「利用しない又は申請しない」が 71.8%～64.4%、「通知を知らなかった」は 25.5～18.1%であった。

６．厚生労働省に期待する支援策【Step4-4)】

厚生労働省に期待する支援策では、「感染防護具の安定的な供給」が 85.2%と最も多く、次いで「ワクチン接種の優先的措置」77.2%、「ワクチン接種費用の公的援助」70.5%、「PCR 検査の優先的措置」69.8%であった。「PCR 検査費用の公的援助」が 68.5%、「感染防護具の購入費補助」が 63.1%、更には「既存の措置や支援策の手続き簡素化」が 66.4%と 6 割以上であった。

７．提言

今後とも、実態を把握しながら、訪問看護ステーションが在宅医療・介護の担い手として安全に訪問看護を提供するための種々の対応策を提言していく。訪問看護報酬の算定についても、ICT 活用など柔軟な対応を引き続き継続していただきたい。

在宅医療従事者の感染防護のスタンダードについて、行政として指針で示していただくことも訪問看護ステーションの安全・安心につながろう。

現状では、訪問看護ステーションへの支援策として、必要な事業所への給付金や人件費補助、PCR 検査やワクチン接種費の公的援助を進めていただきたい。

厚生労働省の感染症対応に係る支援事業や臨時的対応を「知らなかった」との回答も 2 割程度いたので、本財団としても、周知の回数や方法を検討し、在宅療養者への適切な訪問看護の継続を支援することとしたい。

【調査のお問い合わせ先】
日本訪問看護財団　研究担当又は広報担当
〒150-0001　東京都渋谷区神宮前 5-8-2　日本看護協会ビル 5 階
TEL：03-5778-7001（代表）／E メール：kenkyu@jvnf.or.jp

訪問看護ステーションの新型コロナウイルス感染症対応関連アンケート調査(第3弾) 集計表
～感染症発生状況と経営に与える影響～

【Step1】貴訪問看護ステーションの基本情報について

1）貴訪問看護ステーションの所在地について、あてはまるものを選んでください
（必須／1つのみ選択可）

	回答数	149	割合	100.0%
①東京都特別区		13		8.7%
②政令指定都市		31		20.8%
③中核市		30		20.1%
④その他の都市（上記以外の都市）		62		41.6%
⑤郡町村		11		7.4%
⑥離島		2		1.3%

2）貴訪問看護ステーションの開設法人について、あてはまるものを選んでください
（必須／1つのみ選択可）

	回答数	149	割合	100.0%
①医療法人		27		18.1%
②社会福祉法人		10		6.7%
③地方公共団体		2		1.3%
④日本赤十字社・社会保険団体		2		1.3%
⑤社団・財団法人		23		15.4%
⑥協同組合		1		0.7%
⑦営利法人（株式会社）		68		45.6%
⑧特定非営利活動法人		7		4.7%
⑨その他		9		6.0%

3）貴訪問看護ステーション開設後2020年8月末日までの期間であてはまるものを選んでください
（必須／1つのみ選択可）

	回答数	149	割合	100.0%
①1年未満		2		1.3%
②1年以上2年未満		11		7.4%
③2年以上3年未満		11		7.4%
④3年以上5年未満		24		16.1%
⑤5年以上10年未満		38		25.5%
⑥10年以上15年未満		17		11.4%
⑦15年以上		46		30.9%

4）2020年8月の1か月間について、貴訪問看護ステーションの実態を教えてください
(1)訪問看護従事者数（必須）

	回答数	149	平均	--
①常勤換算 看護職員		866.48		5.8
②常勤換算 療法士		232.34		1.6

【Step2】新型コロナウイルス感染症に関する訪問看護ステーションの対応について

1）2020年8月の1か月間について、新型コロナウイルス感染症が関係し、新規の利用をやむを得ず断ったケースはありますか

（必須／1つのみ選択可）	回答数	149	割合	100.0%
①ある		2		1.3%
②なし		147		98.7%

2）上記1）で「①ある」の場合、断った件数を教えてください

（条件付き必須）	回答数	3	--
件		3	

3）利用者数と訪問回数の変化について

『2019年の4月～8月』と『2020年4月～8月』の利用者数と訪問回数を教えてください（必須）

回答数 149 (有効回答数:136)

		介護保険				医療保険			
年	月	利用者数	(前年比)	訪問回数	(前年比)	利用者数	(前年比)	訪問回数	(前年比)
2019	4	7,133	-	40,904	-	3,931	-	30,519	-
2020	4	7,676	108%	45,831	112%	4,261	108%	33,885	111.0%
2019	5	7,206	-	41,904	-	3,950	-	31,313	-
2020	5	7,575	105%	43,073	103%	4,228	107%	34,128	109.0%
2019	6	7,251	-	40,715	-	4,007	-	30,457	-
2020	6	7,766	107%	48,060	118%	4,376	109%	36,408	119.5%
2019	7	7,382	-	45,407	-	4,138	-	33,336	-
2020	7	7,903	107%	48,348	106%	4,417	107%	36,719	110.1%
2019	8	7,418	-	43,563	-	4,027	-	31,127	-
2020	8	7,904	107%	44,801	103%	4,338	108%	35,517	114.1%

※上記データは、4～8月のすべてに回答できているデータ（有効回答数）で算出しています

4）上記において、前年と比較して『訪問回数』が減った月がある場合、減った『理由』を教えてください

（条件付き必須／複数選択可）	回答数	89	--
①医師やケアマネジャーからの依頼が減った		40	44.9%
②スタッフが休み、体制が整わなかった		6	6.7%
③利用者・家族に新型コロナウイルスに罹患した疑いがあった		5	5.6%
④利用者・家族の意思		38	42.7%
⑤その他		43	48.3%

5）上記において、前年と比較して『訪問回数』が減った月がある場合、減ったケアの『内容』を教えてください

（条件付き必須／複数選択可）	回答数	89	--
①リハビリを主とした訪問看護		33	37.1%
②医療的ケアを主とした訪問看護		34	38.2%
③精神科訪問看護		12	13.5%
④その他		38	42.7%

【Step3】2020年8月末までの新型コロナウイルス感染症発生について

1）『利用者について』新型コロナウイルス感染者、新型コロナウイルス感染の疑いがある者、濃厚接触者（接触確認アプリからの接触通知受理者含む）の発生状況を教えてください

（必須／1つのみ選択可）	回答数	149	割合	100.0%
①発生した		33		22.1%
②発生していない		116		77.9%

2）上記で「①発生した」場合、新型コロナウイルス感染者、感染の疑いがある者、濃厚接触者（接触確認アプリからの接触通知受理者含む）の人数を教えてください

（条件付き必須）	回答数	33	--
①新型コロナウイルス感染者		9	
②感染の疑いがある者		68	
③濃厚接触者（接触確認アプリからの接触通知受理者含む）		22	

3）上記で「①発生した」場合、療養者（利用者）を訪問した際、どのような症状・状態像でしたか

（条件付き必須／複数選択可）	回答数	33	--
①発熱		22	66.7%
②呼吸苦		5	15.2%
③味覚・嗅覚障害		2	6.1%
④咳		10	30.3%
⑤痰		4	12.1%
⑥倦怠感		5	15.2%
⑦ADL低下		3	9.1%
⑧不安		2	6.1%
⑨特になし		10	30.3%
⑩その他		4	12.1%

4）感染防護具で現在不足しているものを教えてください

（必須）	回答数	149	--
A.サージカルマスク		39	26.2%
B.N95マスク		107	71.8%
C.手袋		72	48.3%
D.プラスチック製エプロン		55	36.9%
E.長袖プラスチック製エプロン		77	51.7%
F.ゴーグル		60	40.3%
G.フェイスシールド		51	34.2%
H.キャップ		66	44.3%
I.足カバー		71	47.7%
J.手指消毒剤		47	31.5%
K.その他		21	14.1%

(その他：非接触型体温計、体温計、血中酸素濃度計、不織布・プラスチック防護服、エタノール、手洗い液、ペーパータオル、ディスポ腕カバー等)

5）『スタッフ』について、新型コロナウイルス感染者、感染の疑いがある者、濃厚接触者、（接触確認アプリからの接触通知受理者含む）の発生状況を教えてください

（必須／1つのみ選択可）	回答数	149	割合	100.0%
①発生した		14		9.4%
②発生していない		135		90.6%

6）上記で「①発生した」の場合、①②③発生人数と④休ませた延べ日数をそれぞれ教えてください

（条件付き必須）	回答数	14	--
①新型コロナウイルス感染者		0	
②感染の疑いがある者		15	
③濃厚接触者（接触確認アプリからの接触通知受理者含む）		17	
④上記のうち、休ませた延べ日数		157	

（参考）	スタッフを休ませた延べ日数（1ステーション当たり平均）	11.2 日
	5）①発生した	14
	6）④休ませた延べ日数	157

【Step4】貴訪問看護ステーションの経営に及ぼす影響（レセプト請求額ベースでの減少割合）について

1）2019年5月～8月と2020年5月～8月を比較して貴訪問看護ステーションの経営状況について教えてください
（必須／1つのみ選択可）　※新型コロナウイルスによる影響

(1)2019年5月と2020年5月の比較	回答数	149	割合	100.0%
①1割程度減少		26		17.4%
②2割程度減少		10	28.1%	6.7%
③3割程度減少		6		4.0%
④4割以上減少		0		0.0%
⑤変化はほとんどない		50	68.5%	33.6%
⑥1割以上増加		52		34.9%
―比較できない(前年は開設していない)		5		3.4%

(2)2019年6月と2020年6月の比較	回答数	149	割合	100.0%
①1割程度減少		25		16.8%
②2割程度減少		2	22.1%	1.3%
③3割程度減少		6		4.0%
④4割以上減少		0		0.0%
⑤変化はほとんどない		47	74.5%	31.5%
⑥1割以上増加		64		43.0%
―比較できない(前年は開設していない)		5		3.4%

(3)2019年7月と2020年7月の比較	回答数	149	割合	100.0%
①1割程度減少		19		12.8%
②2割程度減少		8	21.6%	5.4%
③3割程度減少		5		3.4%
④4割以上減少		0		0.0%
⑤変化はほとんどない		55	75.2%	36.9%
⑥1割以上増加		57		38.3%
―比較できない(前年は開設していない)		5		3.4%

(4)2019年8月と2020年8月の比較	回答数	149	割合	100.0%
①1割程度減少		18		12.1%
②2割程度減少		11	20.8%	7.4%
③3割程度減少		2		1.3%
④4割以上減少		3		2.0%
⑤変化はほとんどない		55	74.5%	36.9%
⑥1割以上増加		56		37.6%
―比較できない(前年は開設していない)		4		2.7%

2）『2020年8月』の経営状況（レセプト請求額）ついて詳しく教えてください

（1）経営状況であてはまるものを選択してください

（必須／1つのみ選択可）	回答数	149	割合	100.0%
①新型コロナウイルス関連で利益が減った		33		22.1%
②新型コロナウイルス関連で黒字が赤字になった		4	28.2%	2.7%
③新型コロナウイルス関連で赤字が更に増えた		5		3.4%
④新型コロナウイルス発生前と変化はほとんどない又は1割以上増加した		107		71.8%

（2）上記（1）で「①利益が減った」「②黒字が赤字になった」「③赤字が更に増えた」の場合、その理由を教えてください

（条件付き必須／複数選択可）	回答数	42	割合	-
①スタッフが退職した		7		16.7%
②利用者が減少した		24		57.1%
③利用回数が減少した		27		64.3%
④ガソリン代が増えた		2		4.8%
⑤感染防護具の支出費が増加した		27		64.3%
⑥その他		4		9.5%

（3）上記（1）で「①利益が減った」「②黒字が赤字になった」「③赤字が更に増えた」の場合、今後どのように考えていますか

（条件付き必須／1つのみ選択可）	回答数	42	割合	100.0%
①このまま事業を続ける予定		38		90.5%
②休止を考えている		2		4.8%
③廃止を考えている		0		0.0%
④その他		2		4.8%

（4）上記（1）で「①利益が減った」「②黒字が赤字になった」「③赤字が更に増えた」の場合、【最も希望する】支援策を選択してください

（条件付き必須／1つのみ選択可）	回答数	42	割合	100.0%
①損失への給付金		14		33.3%
②人件費への補助金		16		38.1%
③消費税減税		3		7.1%
④前年度実績に基づく概算支払い		1		2.4%
⑤家賃・駐車場等の補助		5		11.9%
⑥その他		3		7.1%

3）厚生労働省新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、臨時的対応として以下のような通知が国から出ましたが、実際に利用又は申請中等も含めて当てはまるものを教えてください

（必須／一つのみ選択可）

A.人員基準の緩和など臨時的な取り扱い	回答数	149	割合	100.0%
①利用した又は申請した		9		6.0%
②検討中		13		8.7%
③利用しない又は申請しない		111		74.5%
④通知を知らなかった		16		10.7%

B.制度上規定された定期的な会議の柔軟な取り扱い	回答数	149	割合	100.0%
①利用した又は申請した		53		35.6%
②検討中		29		19.5%
③利用しない又は申請しない		51		34.2%
④通知を知らなかった		16		10.7%

C.20分未満の訪問看護要件の緩和	回答数	149	割合	100.0%
①利用した又は申請した		12		8.1%
②検討中		20		13.4%
③利用しない又は申請しない		102		68.5%
④通知を知らなかった		15		10.1%

D.特別管理加算の月1回別途算定	回答数	149	割合	100.0%
①利用した又は申請した		6		4.0%
②検討中		17		11.4%
③利用しない又は申請しない		105		70.5%
④通知を知らなかった		21		14.1%

E.看護職員の電話等による病状確認や療養指導等での訪問看護管理療養費のみの算定	回答数	149	割合	100.0%
①利用した又は申請した		22		14.8%
②検討中		19		12.8%
③利用しない又は申請しない		97		65.1%
④通知を知らなかった		11		7.4%

F.通常の請求期日を過ぎてからの請求	回答数	149	割合	100.0%
①利用した又は申請した		2		1.3%
②検討中		7		4.7%
③利用しない又は申請しない		127		85.2%
④通知を知らなかった		13		8.7%

G.持続化給付金	回答数	149	割合	100.0%
①利用した又は申請した		17		11.4%
②検討中		23		15.4%
③利用しない又は申請しない		96		64.4%
④通知を知らなかった		13		8.7%

H.「36(サブロク)協定」届出の緩和による労働時間の延長	回答数	149	割合	100.0%
①利用した又は申請した		5		3.4%
②検討中		15		10.1%
③利用しない又は申請しない		102		68.5%
④通知を知らなかった		27		18.1%

I.セーフティネット保証5号	回答数	149	割合	100.0%
①利用した又は申請した		2		1.3%
②検討中		15		10.1%
③利用しない又は申請しない		77		51.7%
④通知を知らなかった		55		36.9%

J.融資制度	回答数	149	割合	100.0%
①利用した又は申請した		5		3.4%
②検討中		21		14.1%
③利用しない又は申請しない		109		73.2%
④通知を知らなかった		14		9.4%

K.雇用調整助成金	回答数	149	割合	100.0%
①利用した又は申請した		9		6.0%
②検討中		19		12.8%
③利用しない又は申請しない		106		71.1%
④通知を知らなかった		15		10.1%

L.5月診療分診療報酬等の一部概算前払	回答数	149	割合	100.0%
①利用した又は申請した		4		2.7%
②検討中		3		2.0%
③利用しない又は申請しない		124		83.2%
④通知を知らなかった		18		12.1%

M.新型コロナウイルス感染症の軽症者で宿泊療養者に訪問看護を行った場合の訪問看護療養費の算定	回答数	149	割合	100.0%
①利用した又は申請した		0		0.0%
②検討中		6		4.0%
③利用しない又は申請しない		126		84.6%
④通知を知らなかった		17		11.4%

N.臨時的包括支援事業における感染症対策支援事業	回答数	149	割合	100.0%
①利用した又は申請した		16		10.7%
②検討中		41		27.5%
③利用しない又は申請しない		68		45.6%
④通知を知らなかった		24		16.1%

O.臨時的支援事業における慰労金支給事業	回答数	149	割合	100.0%
①利用した又は申請した		79		53.0%
②検討中		41		27.5%
③利用しない又は申請しない		23		15.4%
④通知を知らなかった		6		4.0%

P.臨時的支援事業における利用者への再開支援事業	回答数	149	割合	100.0%
①利用した又は申請した		2		1.3%
②検討中		13		8.7%
③利用しない又は申請しない		107		71.8%
④通知を知らなかった		27		18.1%

Q.臨時的支援事業における感染症防止の環境整備事業	回答数	149	割合	100.0%
①利用した又は申請した		20		13.4%
②検討中		56		37.6%
③利用しない又は申請しない		59		39.6%
④通知を知らなかった		14		9.4%

R.公費でPCR等検査の受診（接触確認アプリで通知を受けた者含む）

	回答数	149	割合	100.0%
①利用した又は申請した		1		0.7%
②検討中		39		26.2%
③利用しない又は申請しない		84		56.4%
④通知を知らなかった		25		16.8%

S.新型コロナウイルス感染症による小学校休業等対応助成金	回答数	149	割合	100.0%
①利用した又は申請した		17		11.4%
②検討中		7		4.7%
③利用しない又は申請しない		96		64.4%
④通知を知らなかった		29		19.5%

T.新型コロナウイルス感染症による両立支援等助成金（介護離職防止支援コース）

	回答数	149	割合	100.0%
①利用した又は申請した		1		0.7%
②検討中		13		8.7%
③利用しない又は申請しない		99		66.4%
④通知を知らなかった		36		24.2%

U.新型コロナウイルス感染症による母性健康管理措置による休暇取得支援助成金

	回答数	149	割合	100.0%
①利用した又は申請した		3		2.0%
②検討中		10		6.7%
③利用しない又は申請しない		98		65.8%
④通知を知らなかった		38		25.5%

4）厚生労働省に今後期待する支援策について、該当するものを選択してください

（必須／複数選択可）	回答数	149	
①既存の措置や支援策の手続き簡素化		99	66.4%
②PCR検査の優先的措置		104	69.8%
③PCR検査費用の公的援助		102	68.5%
④ワクチン接種の優先的措置		115	77.2%
⑤ワクチン接種費用の公的援助		105	70.5%
⑥感染防護具の安定的な供給		127	85.2%
⑦感染防護具の購入費補助		94	63.1%
⑧その他		4	2.7%